

2022年度 ハマボノプロジェクト

支援先団体名	区	支援メニュー	ページ
三ツ沢地区社会福祉協議会	神奈川	印刷物	2
藤棚らいぶステーション	西	印刷物	6
子どもフリースペース いらっしやい運営委員会	南	課題整理 ワークショップ	9
インターネットふれあい亭	磯子	ウェブサイト	13
富岡第三地区地域福祉保健計画 (富岡北部町内会)	金沢	ウェブサイト	17
白山地区社会福祉協議会	緑	マーケティング 基礎調査	21
NPO法人霧が丘ぷらっとほーむ	緑	課題整理 ワークショップ	24
瀬谷第四地区社会福祉協議会	瀬谷	印刷物	28

プロジェクト紹介

三ツ沢地区社会福祉協議会



神奈川県

三ツ沢地区社会福祉協議会

プロジェクトの種類 印刷物（パンフレット制作）

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

神奈川県三ツ沢地区の地域住民主体の活動団体です。地域の住民同士が、地域の課題や困りごとを自分達の問題と受け止め、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指しています。地域のお祭りなどの交流事業、地域福祉活動の研修会、コミュニティカフェや子ども食堂などを展開しています。コロナ禍で活動が減っていますが、活動を継続することを大切に、毎年新しい仕掛けや工夫を取り入れています。

三ツ沢地区社会福祉協議会では、より幅広い地域のニーズに応えるため、2023年度に、地域住民を対象にアンケート調査を行う予定です。それに先立って、三ツ沢地区社会福祉協議会がどのような団体・活動を行っているのかを知らない地域住民の認知度向上を図り、地域活動に関わる住民のすそ野を広げていきたいと考えています。

今回のプロジェクトでは、三ツ沢地区社会福祉協議会の概要や活動の全体像を伝えられるような、団体紹介パンフレットを作成します。パンフレットは、2023年度に実施するアンケート調査の際に、全世帯への配布を予定しています。団体の魅力や活動内容を知っていただき、団体の活動に参加する人を増やすことも目的としています。また、第三者視点を持つプロボノチームとの対話を通じて、団体の運営メンバー自身が気付きを得ることも期待しており、団体と一緒に検討を重ねる機会を設けながらプロジェクトを進めていきます。

進捗状況

2022.09.03



ハマボノ2022の全8チームが、オンライン開催でのオリエンテーションに参加しました。

ハマボノの流れや、横浜市におけるハマボノの意義などについてのお話のあと、チームミーティングでは、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、プロジェクトの進め方やプロジェクト内容の確認などを行いました。

2022.09.17



キックオフミーティングを実施しました。当初、大会場でのハマボノ全8チーム集合しての開催を予定していましたが、感染拡大予防のため、オンラインでの開催となりました。支援先団体の方と初めての顔合わせとなり、自己紹介や、団体の活動内容やプロジェクト内容、今後の進め方などについての確認を行いました。

2022.09.28

個別ヒアリングを2件実施しました。活動内容や、三ツ沢地区社協との関わり、三ツ沢地区について等、様々なお話を聞くことが出来ました。

2022.10.11

新たに2件、個別ヒアリングを実施しました。

2022.10.22

新たに2件、個別ヒアリングを実施しました。ヒアリングは残り1件となり、今週末にはハロウィンイベントを見学予定です。

2022.10.25

7件のすべての個別ヒアリングが完了しました。

2022.10.30

10月29日、30日にハロウィンイベントを見学しました。実際に地域を歩き、イベントの様子を見て、地域の雰囲気を感じることができました。

2022.11.01

収集した情報のまとめと分析を実施しました。

2022.11.03

ヒアリングの振り返りと提案の方向性を検討するチームミーティングを実施しました。

2022.11.07

中間提案に向けてチームミーティングを実施しました。

2022.11.15



中間提案ミーティングを実施しました。チームメンバーから成果物のコンセプトや構成案をそれぞれ提案し、団体の皆さんと様々なディスカッションができ、団体が目指す姿や大切にしている価値観についての理解も深まりました。ミーティングで話し合ったコンセプトや方向性をもとに、パンフレットに落とし込む具体的な作業がスタートします。

2022.11.18

チームミーティングを実施しました。中間提案の振り返りと、パンフレットの内容について検討を進めました。

2022.12.01

団体内で調整いただいた成果物のコンセプトについて、どのようにパンフレットに落とし込んでいくのかや、作業の進め方について、チームミーティングで検討しました。

2022.12.07

チームミーティングを行いました。それぞれが持ち寄ったアイデアを元に、パンフレットに本当に必要な要素を検討しました。

2022.12.11



チームで対面で集まり、パンフレットのレイアウトについて検討しました。夕方は、三ツ沢地区で行われているキャンドルナイトイベントに参加しました。

2022.12.27

パンフレットのラフ案が完成し、団体の皆さんにお送りしました。

2023.01.10

団体の皆さんからいただいたラフ案へのご意見を踏まえ、どのようにデザインに反映するか、チームミーティングで検討しました。

2023.01.16

前回のミーティングから更新したデザインに対して、チームミーティングで確認し、意見交換を行いました。

2023.01.26



成果提案ミーティングを実施しました。これまでの活動を振り返った上で、何を大切にパンフレットを構成したかをご説明し、三ツ沢地域に数多くある活動をプロジェクトチームの視点でまとめたパンフレットを提案しました。団体からは、「自分たちが作っていたら情報量が多いパンフレットになっていたと思う。三ツ沢を知らない第三者の皆さんだからこそ、地域のことをあまり知らない人たちにとっても分かりやすい形にまとめていただいた。ハマボノで支援していただけてよかった。」と感想をいただきました。

2023.01.31

パンフレットについて細かい文言の修正などのリクエストをいただきました。デザインに反映し、プロジェクトが終了となります。

2023.02.28

いただいた修正などのリクエストを反映した最終成果物を納品し、プロジェクトが完了しました。

プロジェクト成果



初めて地域活動を知る人にとっても伝わりやすく、地域のあたたかさを感じるリーフレットが完成しました

2023年度に地域住民へのアンケート調査を行う計画があります。地域でどんなことが出来るのかを知っていただいた上で、住民の皆さんのニーズを知りたいという思いがあり、アンケートに同封する地域活動の紹介資料を作りたいというのがハマボノ参加のきっかけでした。また、地域活動に関わる人を増やしていきたい、若い世代にも参加していただきたいという思いもありました。

完成したパンフレットは、とても分かりやすく、まだあまり地域のことを知らない人にとって、親しみやすい情報量・構成でまとめられていました。活動が多岐に渡り、多くの活動があるため、団体のメンバーでは情報の絞り込みが難しいと、三ツ沢を知らないプロボノチームだからこそ、客観的に情報を取捨選択していただきました。

去年のハマボノで作成いただいたHPのテーマカラーとも合わせていただき、イラストや、活動の様子が伝わる写真もたくさん掲載いただき、優しい雰囲気が出るパンフレットになりました。

(2023年3月10日時点の情報です)

プロジェクト成果の“その後”



三ツ沢地区の住民の皆さんへのアンケート調査を実施するにあたり、地域を紹介するツールも併せて配りたいというきっかけもあり作ったパンフレットでした。実際に、アンケートを2023年度に実施し、アンケートとともに4,600部を全戸配布しました。その効果もあってか、約50%という高い回答率で協力いただいています。

アンケートは2種類あり、1つは、三ツ沢地区の印象、町内会への関心、町内会として何が足りないか、何が魅力かなどを聞く、今後の三ツ沢地区の発展につながるヒントを探るためのものです。もう1つは、三ツ沢地区社協の活動参加への関心を伺うものです。少しずつですが、手伝ってみたいという声をいただいています。アンケートにパンフレットを添付して配布したことで、地域に改めて共感を感じていただけているように思います。

2021年度、2022年度と2年続けてハマボノの支援を受けましたが、成果物以外に目に見えて効果があったと感じていることは、団体内部での親しさが変わったことです。外からの目線でハマボノチームの皆さんに支援していただく中で、三ツ沢について改めて考えながら話し合うことで、個人個人の思考、志向が今まで以上によくわかった気がします。当たり前と思っていたことが、ハマボノチームの皆さんには驚かれたり疑問を持たれたりもし、それを説明するために改めて考える機会になりました。また、1つの質問に対して、答えが役員ひとりひとり違うことがわかったのもおもしろい経験でした。そのようなコミュニケーションを通して、役員同士の親しが増したのは、大きな収穫でした。

[2024/2/2 三ツ沢地区社会福祉協議会 代表 谷内様へのヒアリングより]

プロジェクト紹介

藤棚らいぶステーション



西区

藤棚らいぶステーション

プロジェクトの種類 印刷物（チラシ制作）

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

2006年の春に藤棚一番街の中央にオープンした地域の居場所です。散歩や買い物に出かけた際にちょっと一休みでき、居合わせた人とおしゃべりを楽しみ、誰もが使えるトイレがあれば安心して買い物ができる、西区社会福祉協議会と藤棚一番街の協力のもと生まれました。現在、ローカルな「街の駅」としての役割を担っており、午後は毎日、地域の高齢者がボランティアで「駅長さん」と呼ばれる役割を交代で担っており、立ち寄りの人々をお迎えします。また、午前中は、日によって、絵紙教室等の活動を実施しています。

商店街の中にある地域の方が気軽に立ち寄れる場で、かつては、主に高齢者の年間利用者が延べ3,500人ほどいました。しかし、担い手の高齢化や、利用者が広がらない等の課題があります。さらに、コロナ禍で2年ほど活動が思うようにできなかったこともあり、利用者が減りました。かつての活気を取り戻せるよう、また新規の方にも来てもらえるよう、認知度を上げることが課題です。利用が増えることで地域住民の交流が増え、商店街全体の発展にもつなげていきたいと考えています。

プロボノでは、このスペースの利用者を増やすことを目指したチラシを作ります。チラシでお伝えしたい主なポイントは2つです。「駅長さん」が見守る地域の居場所としての魅力と、午前中は趣味の講座やサロン活動などに場所を活用できるという点です。「藤棚らいぶステーション」に立ち寄りしたい、スペースを活用したいと思ってもらえるようなチラシを作成します。

進捗状況

2022.09.03



ハマボノ2022の全8チームが、オンライン開催でのオリエンテーションに参加しました。

ハマボノの流れや、横浜市におけるハマボノの意義などについてのお話のあと、チームミーティングでは、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、プロジェクトの進め方やプロジェクト内容の確認などを行いました。

2022.09.10

Zoomでチームミーティングを行い、キックオフミーティングに向けた打ち合わせ、資料等の準備について確認をしました。

2022.09.17



キックオフミーティングを実施しました。当初、大会場でのハマボノ全8チーム集合しての開催を予定していましたが、感染拡大予防のため、オンラインでの開催となりました。支援先団体の方と初めての顔合わせとなり、自己紹介や、団体の活動内容やプロジェクト内容、今後の進め方などについての確認を行いました。

2022.09.24

プロボノチームが藤棚らいぶステーションを訪問し、ヒアリングを実施しました。

2022.10.10



絵手紙教室の見学をし、プロボノメンバーと一緒に体験をさせていただきました。また、関係者へのヒアリングを行いました。

2022.10.22

市民共同推進センターで、初めての対面でのチームミーティングを行い、中間提案やその後の流れについての確認をしました。

2022.11.05



プロボノチームが戸部本町地域ケアプラザを訪問し、ヒアリングを実施しました

2022.11.19

市民共同推進センターで、対面でのチームミーティングを行い、中間提案に向けた最終確認をしました。

2022.11.26



支援先団体を訪問し、中間提案ミーティングを実施しました。チームからこれまでの見学やヒアリングを通じた調査報告と、それに基づいた成果物構成のご提案をし、団体の方のご意見を伺い、成果物の方向性を検討しました。中間提案ミーティングでの検討内容メモを団体の皆さんに改めてご確認いただき方向性に合意いただいた後、成果物を整えていきます。

2022.12.02

中間提案に対する支援先団体からのフィードバックをいただきました。プロボノチームは、週1回の定例ミーティングを主にオンラインで継続しながら、成果物制作を進めています。

2022.12.24



通常の定例ミーティングはオンラインで行っていますが、久しぶりに対面でチームミーティングを市民共同推進センターで行い、成果提案に向けた確認を行いました。

2023.01.14



チームが団体の活動場所を訪問し、成果提案ミーティングを実施しました。中間提案でご提示したチラシ案をこれまでチームが整えてきた成果物をご覧いただき、意見交換をしました。ご指摘いただいた点を反映し、1月末までの納品を予定しています。また、このチラシの活用場所などのご提案もしました。

団体の方からは、「ハマボノと聞いて何だかわからないまま参加をしたが、素晴らしい成果をいただけた」「出来上がって安心せずに活用していきたい」などのご感想をいただきました。

2023.01.26

提案に対する回答と承認を実施しました。

2023.01.31

成果提案ミーティングで確認をした修正点を成果物に反映し、最終成果物を納品、受領のご連絡をいただきました。



「駅長さん」が待つあたたかさと、誰でも気軽に立ち寄れるステーションの魅力伝えるチラシができました

商店街にある地域の交流の場所としてスタートしてから15年以上。一度寄ってみればこの場所の魅力やあたたかさがわかるものの、商店街の通りからほんの一步入った場所柄、知らない人も多く、前を通ったとしても、入っていい場所なのか迷ってしまうようです。そこで、トイレや赤ちゃんのおむつ替えなどから、誰かとおしゃべりをしたいなど、立ち寄る目的は様々あって良く、誰でも気軽に入れることを知ってもらえるようなチラシを作成しました。

ステーションを交替で守る地域ボランティア「駅長さん」の紹介や、駅長さんの声などを紹介することで、安心できる場所であることもしっかり伝えています。その他、介護・健康相談や、趣味の教室など行っていることを紹介し、このスペースの活用をさらに広げられることも伝えました。

このチラシは、地域の掲示板への掲示や回覧、各所への配架をし、活用していく予定です。

(2023年1月14日時点の情報です)

プロジェクト成果の“その後”



ハマボノで作っていただいたチラシは2,000部印刷をし、早速、地域の掲示板に掲示しました。

商店街でも掲示したり、コミュニティハウスや地域ケアプラザ、区役所などにもおいてもらっています。

商店街から一步入ったところにあるスペースではありますが、トイレを探してくる方や、どんな場所か覗いてくださる方もいらっしゃいます。そのようなときにはできるだけこちらから声をかけるようにしています。

この1年で、駅長さんが増えました。チラシの写真にはまだ新しい駅長さんは入っていないので、新しい駅長さんたちと一緒に、マスクのない写真に差し替えて、気持ち新たにこのチラシを活用していきたいと思っています。

[2024/3/18藤棚らいぶステーション西岡さま西山さま 西区社会福祉協議会原田松村ヒアリングより]

プロジェクト紹介

子どもフリースペースいらっしゃい運営委員会



南区

子どもフリースペースいらっしゃい運営委員会

プロジェクトの種類 印刷物（広報課題整理+広報物の作成）

プログラム

ハマボノ

進捗率

進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

2020年1月に発足し、現在は月に1度、食材の配布を行うフードパントリーの運営を行っています。単に食材を配るだけでなく、楽しみながら運動や交流ができるプログラムを組み合わせている点が特徴です。地域の子どもたちが明るく楽しい生活を送ることや、地域の高齢者が担い手として活躍する多世代交流拠点を目指して、六ツ川大池地区社会福祉協議会、六ツ川大池地区連合自治会、民生委員、青少年指導員、スポーツ推進委員など、地域のボランティアと一緒に活動をしています。コロナ禍で中止となってしまった、地域食堂や配食サービスの実現を目指して、新しい活動の準備も進めています。

もっと多くの人に活動を知ってもらい、参加者を増やしていきたいと考えているため、現在の広報物（活動のポスター、ホームページ）の改善の必要性を感じています。また、地域住民にわかりやすく活動を紹介するためのリーフレット作成や、住民をはじめ支援者・寄付者等が最新の情報を確認できるようにSNSでの発信もしていきたいと考えていますが、現状では十分に実現できていません。

そこで、今回のプロジェクトでは、団体の広報について課題整理を行った上で、現在の広報物のリニューアルやSNSアカウント開設等、優先順位の高いものから、プロジェクト期間中に実施可能な範囲で、広報物の制作を行います。

《補足》

ハマボノでは9月17日(土)午前中に全体でのキックオフミーティングを予定していますが、本プロジェクトにおいては、以下のスケジュールで団体の活動場所にて、個別に開催します。

時間：

9月17日(土) 10:00~12:00 イベント見学

9月17日(土) 13:00~15:00 キックオフミーティング

場所：

六ツ川大池地区連合自治会館
(横浜市南区六ツ川2-111)

進捗状況

2022.09.03



ハマボノ2022の全8チームが、オンライン開催でのオリエンテーションに参加しました。

ハマボノの流れや、横浜市におけるハマボノの意義などについてのお話のあと、チームミーティングでは、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、プロジェクトの進め方やプロジェクト内容の確認などを行いました。

2022.09.17



午前中は団体の活動見学を行い、午後はキックオフミーティングを実施しました。先に活動見学を行うことができたため、キックオフでは、団体の活動内容について、イメージをしっかり持って理解を深めることが出来ました。また、団体の目指す姿について活発に意見交換を行うことができ、次のステップへのヒントをたくさん得られました。キックオフミーティング終了後は、早速チームで振り返りの時間を取り、次のアクションを整理しました。

2022.10.10

団体との打ち合わせを行い、これまでの進捗共有とヒアリングに向けた確認を行いました。

2022.10.11

ヒアリング以外の調査を実施しました。

2022.10.15

月に1回開催されるフードパントリーの活動を見学し、参加家族へのヒアリングを行いました。

2022.10.16

子ども映画のつどい（イベント）を見学しました。

2022.10.23

チームミーティングを実施しました。

2022.10.30

チームミーティングを実施しました。

2022.11.12

チームミーティングを実施しました。

2022.11.12

チームミーティングを実施しました。

2022.11.20



中間提案ミーティングを実施しました。これまで行ってきた活動見学やヒアリング結果をご報告し、複数の広報手段についてそれぞれの活用方法やサンプル案などをご提示し、最終成果物とする広報ツールの優先順位を検討しました。

2022.11.30

支援先の方と、成果物の進捗共有と確認をオンラインで行いました。

2022.12.11

オンラインで、支援先団体との2回目の成果物確認会を行いました。前回に引き続き成果物を実際に見ていただきながら相互に確認をすることで、確定事項や見直し事項を間違いなく進められるよう、支援先団体と歩調と合わせる工夫をしてプロジェクトを推進しています。また、成果物の引継ぎのための資料も早々にお見せして確認いただき、プロジェクト完了後からすぐに成果物活用に入っているように進めています。

2023.01.21

ハマボノ活動の成果物を支援先団体が継続して運用するために、広報資材の制作環境の引き継ぎや、広報資材の改版方法、その他、制作に関する相談を実施しました。成果報告会をスムーズに行う準備として、有意義な場となりました。

2023.01.28



成果物説明会と称し、最終ミーティングを実施しました。すでにウェブサイトの引き渡しなどは別途行い詳細確認も進めていたため、今回のミーティングでは、全成果物の最終説明、修正有無の確認などを行いました。

また、支援先の方から今後の活動の展望も伺うことができ、それについてプロボノメンバーから様々な意見や提案が出るなど、さらなる発展に向けたディスカッションの場ともなりました。

2023.01.28



提案に対する回答と承認を実施しました。

プロジェクト成果



ウェブサイトやSNS等を作成いただき、情報発信や利用者などとのコミュニケーション強化に向けた体制が整いました

利用者へのハガキ連絡を他のツールに切り替えることで、ハガキ代を利用者のためにもっと有効に使いたいという思いが、ハマボノ申請のきっかけでした。

プロジェクトが始まると、ハマボノチームによるヒアリングや活動見学、情報発信の実績を確認するなど、団体理解を進め、活動の熱量の高さを実感しました。

それをもとに、中間提案ミーティングでは情報発信についての課題整理と、ウェブサイト、SNS、パンフレット、チラシなどの広報ツールの提案がありました。様々な広報ツールがある中、優先順位をつけながらも、どれも必要なツールと判断し、団体の方から多くの情報共有をいただきながら、パワフルなハマボノチームによっていずれも成果物制作やご提案につなげることができました。

成果物の提案を受け、団体の方からは、「感謝している」「うれしい」などのご感想とともに、まだまだ発展を続けていく活動のビジョンについて熱い思いを伺うことができました。

[完成したウェブサイトはこちら](#)（外部サイトにリンク）

プロジェクト成果の“その後”



ハマボノ成果物は、全て活用しています。十二分に使えるものにしてもらえました。使いにくい点は全くありません。ベースを作ってもらえたので委員会がうまく運営できています。また、ハマボノを通じてケアプラザとのつながりが深くなったのも1つの効果でした。



ホームページで記事を作成したものをSNSに展開しています。補助金の申請時等、URLを求められることが多いためホームページを作ってよかったと思っています。



SNSで一番活用しているのはInstagramです。SNSを見て近隣のお店から食料提供したいと言われることもあり、地域密着型の活動になってきたと感じています。



活動をPRできる機会には、リーフレットを団体の紹介資料として使用しています。いい仕様だと運営がしっかりした団体という理解をもらえるようです。LINEも登録者が増えました。以前はハガキで案内していましたが、郵便料金の値上がりもあり、LINEにして改めてよかったと思います。

ハマボノでいろいろな広報ツールを整えたことをきっかけに、これまでの1年間で約100名がコンタクトしてきてくれました。その中には農林水産省もあり、活動を評価され、農林水産省「子ども食堂・子ども宅食における 政府備蓄米 活用事例集」に選ばれるというご縁もありました。

[2024/2/11 子どもフリースペースいらっしやい運営委員会 代表小川様へのヒアリングより/ご協力：プロボノワーカー久保田さん、横田さん、鈴木（沙）さん]

プロジェクト紹介

インターネットふれあい亭



磯子区

インターネットふれあい亭

プロジェクトの種類 ウェブサイト

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

2014年から活動を開始、主にシニア向けのパソコン・スマホのお困りごと相談を、年間80回程度実施しています。デジタルデバイドを解消することを目標に、様々な相談に対応します。相談内容は、パソコンやスマホを使えるようになりたい、LINEなどのSNSを教えてほしい、など様々です。最近はスマホの相談が増えましたが、どの機種でも相談に対応できるようにしています。相談に来る方は70代が最も多く、相談にのる運営スタッフも70代がメインです。また、相談に来る人をサポートする「サポーター」の養成も行っています。

ホームページを通じて、活動の紹介、スケジュールのご案内などを行っているものの、更新ができるスタッフが少なく、更新の手間もかかるため、スタッフが誰でも更新作業を簡単に行える方法に変えていきたいと考えています。

また、現在は、毎回の相談会の内容は手書きで担当スタッフが記録し、有志のスタッフがエクセルにも残し、それを、会長がブログで発信しています。相談の記録は、非常に有用な情報なので、相談の記録をスタッフ間でよりスムーズに共有できるようにし、利用する方向けに、実際の困りごとから過去の相談事例を通じて、解決策を逆引きできるようなデータとしてまとめたり、パソコン機器の操作が苦手な高齢者等の方でも分かりやすく利用できるようにしたいと考えています。

そこで、今回のプロジェクトでは、ジンドゥーまたはWixでウェブサイトを作成し、情報の発信、情報の共有を充実させたいと考えています。また情報の発信だけでなく、ご相談いただいたお困りごととその回答について蓄積してきている情報も、わかりやすく見つけやすいページにします。また、高齢者のスタッフが誰でも更新できるように、更新作業のマニュアルを作成します。

進捗状況

2022.09.03



ハマボノ2022の全8チームが、オンライン開催でのオリエンテーションに参加しました。

ハマボノの流れや、横浜市におけるハマボノの意義などについてのお話のあと、チームミーティングでは、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、プロジェクトの進め方やプロジェクト内容の確認などを行いました。

2022.09.17



キックオフミーティングを実施しました。当初、大会場でのハマボノ全8チーム集合しての開催を予定していましたが、感染拡大予防のため、オンラインでの開催となりました。支援先団体の方と初めての顔合わせとなり、自己紹介や、団体の活動内容やプロジェクト内容、今後の進め方などについての確認を行いました。

2022.09.20

団体の活動見学に備えてチーム内で事前ミーティングを実施しました。

2022.09.24



屏風ヶ浦地域ケアプラザを訪問し、団体の活動を見学しました。

2022.09.30

チームミーティングを実施しました。

2022.10.07

チームミーティングを実施しました。

2022.10.14

チームミーティングを実施しました。

2022.10.21

チームミーティングを開催しました。中間提案に向けての検討や準備を進めています。

2022.10.28

チームミーティングを実施しました。

2022.11.04

チームミーティングを実施しました。中間提案に向けてモックやサンプルの制作も大詰めを迎えています。

2022.11.12



11/12土 中間報告の屏風ヶ浦地域ケアプラザにて第1回目の中間報告を実施しました。WEBサイトのモックアップを使って、団体の要望やリニューアル後の運用について内容の濃い議論をしました。
(マスクは集合写真の時のみ外しています。)

2022.11.18

中間報告での議論をうけて、運用マニュアルの構成などについて、チームミーティングを実施しました。

2022.11.26



中間提案（2回目）を行いました。

2022.11.29

中間提案を受けて、WEBサイトのブラッシュアップについてチームミーティングを開催しました。

2022.12.17



支援先団体活動場所を訪問し、成果提案ミーティングを実施しました。現在限定公開としているサイトについて、構成や更新の仕方をお伝えし、実際に団体の皆さんに触っていただきました。プロジェクト期間としてはまだ続きますが、使い方に慣れていただく期間を持てるよう、早いタイミングで成果提案を実施しました。1月半ばにはサイトを公開する予定となり、1月末頃までは質問にお答えするなどウェブサイト運営を伴走していく予定です。

2023.01.15



WEBサイトの運用引き継ぎミーティングを行いました。長時間にわたるミーティングでしたが、団体とプロボノチームで多岐にわたる応答を行いました。これからふれあい亭のみなさまによるWEBサイトの運用がはじまります。

2023.02.01

事後フォローを行い、プロジェクトが完了しました。

プロジェクト成果



団体メンバー全員で更新可能な、IT初心者にとってやさしいWEBサイトを作成しました

デジタルデバイドを解消することを目標に掲げ、シニア向けのパソコン・スマホの困りごと相談を、年間約80回実施するインターネットふれあい亭。今までの相談会で培った知見を利用者やスタッフ間で活かしきれておらず、「来亭者情報の管理」「サイトの分担管理」が課題でした。

今回、プロジェクトで目指したものはスタッフみんなで更新できるWEBサイトです。

プロボノチームは団体の活動状況を詳しくヒアリングし、今回は最も運用しやすそうなGoogle Siteを使ってWEBサイトを作成しました。

Googleカレンダーと連携して相談会のスケジュールの管理や、Google Formを使った問い合わせの受付など、ふれあい亭を利用する方と双方向でやり取りのできるWEBサイトを提供することができました。

また、多くの方が使い慣れているLINEを使って日々の活動状況をプッシュ配信できるようLINE友達追加ボタンもWEBサイトに設置することで、団体の活動を身近に感じてもらえるようになりました。

(2023年3月10日時点の情報です)

[完成したウェブサイトはこちら](#) (外部サイトにリンク)

プロジェクト成果の“その後”



ハマボノで作ったホームページは、運営メンバー（カレンダー担当、ブログ担当、Lin公式アカウント担当、来亭者情報入力担当など）で分担をして月に数回継続的に更新しています。



入力された来亭者情報は自動で統計処理が出来るので、来亭者の特性（新規/継続、性別、来亭場所、居住地域、相談機種、相談内容など）の統計がすぐにわかるようになりました。これをふれあい亭の総会などで共有し、活動の改善につなげるなど、とても役立っています。



オンラインでも質問や相談を受け付ける想定でホームページの中に連絡フォームも作ってもらいましたが、この利用は残念ながらほとんどありませんが、ブログやHPを見るなど活動を知り、困りごとがあれば来亭してもらっているのではと思っています。



ブログには、来亭者からの質問や、その際の対応についての解説を記録しています。対応した担当者が、ブログを見ることにより、担当者のレベルアップにもつながっているようです。ブログへのアクセスは多いと日に20近く。さらに、ブログを見て、ほかで解決しなかった困りごとをふれあい亭に来れば教えてもらえるかもしれないと思われ来亭される方もいます。最近では、初心者向けのIT相談にとどまらず幅広い範囲の相談ができると認識してもらえているようで、以前より高度な質問が増えてきたように思います。

来亭者も増え、担当者にとっても、来亭者にとっても、ホームページがあることでレベルアップにつながっています。

[2024/2/16 ふれあい亭 代表小野様へのヒアリングより]

プロジェクト紹介

富岡第三地区地域福祉保健計画



金沢区

富岡第三地区地域福祉保健計画

プロジェクトの種類 ウェブサイト

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

金沢区では、誰もが安心して健やかに住み続けられるよう、住民みんなで金沢区を良くしていくための計画「金沢ささえあいプラン／第4期金沢区地域福祉保健計画」と地区毎に「地区別計画」を策定しています。さらに、富岡第三地区では各町内会でも計画を策定し、さまざまな活動をしています。

本計画を担っている富岡北部町内会では、「一心たすけの会」が高齢者の見守りや助け合い活動を20年以上にわたって継続するなど、高齢者が安心して暮らせる地域づくりのために積極的な活動を推進しています。「ダイヤモンドクラブ（シニアクラブ）」は、お祭りの手伝いや、交通安全活動、そして、年間365日開催（荒天の日を除く）のラジオ体操なども運営する大きな戦力です。これらの活動は、地域福祉保健計画にも位置付けられています。

1つの目標として、インターネットを活用した高齢者にやさしい情報伝達共有化を目指し、高齢者のICT活用スキルも向上させたいと考えています。特に、富岡第三地区は坂の多い地域のため住民が集まるのが大変であるという地理的な理由や、コロナ禍もあり、オンラインの交流を進めたいと考えています。

また、高齢者を対象としたスマホ講座を通じて、誰もがインターネットでつながることができる地域づくりを推進しています。従来の回覧板に加えて、高齢者をはじめ幅広い住民が地域活動をいつでも簡単に見ることができるよう、スマホでも見やすいホームページが求められています。また、現在よりも更新が容易にできることも重要なポイントです。

今回のプロジェクトでは、富岡第三地区地域福祉保健計画の一環として、高齢者にもわかりやすく、スマホからでも見やすい、地域活動を発信するためのホームページを作成します。また、地域で継続的に更新していけるよう、更新マニュアルも作成します。

進捗状況

2022.09.03



ハマボノ2022の全8チームが、オンライン開催でのオリエンテーションに参加しました。

ハマボノの流れや、横浜市におけるハマボノの意義などについてのお話のあと、チームミーティングでは、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、プロジェクトの進め方やプロジェクト内容の確認などを行いました。

2022.09.10

横浜市市民協働推進センターに集合し、チームミーティングを実施しました。キックオフミーティングに向けた打ち合わせ、資料等の準備について確認をしました。

2022.09.17

キックオフミーティングを実施しました。当初、大会場でのハマボノ全8チーム集合しての開催を予定していましたが、感染拡大予防のため、オンラインでの開催となりました。支援先団体の方と初めての顔合わせとなり、自己紹介や、団体の活



動内容やプロジェクト内容、今後の進め方などについての確認を行いました。

2022.10.02



プロボノチームが支援先団体を訪問し、打ち合わせを実施しました。キックオフミーティングはオンラインでの顔合わせでしたが、初めて支援先団体の皆さんとお会いすることができました。打ち合わせでは、プロジェクトゴールの改めての確認や、今後の進め方についてのすり合わせを行いました。

2022.10.06

オンラインでチームミーティングを実施し、ヒアリング対象者の検討、その他支援先団体への確認事項の整理をしました。

2022.10.11

「簡単料理」（男性のための教室）を、プロボノメンバーが見学し、ヒアリングを行いました。

2022.10.16

プロボノチームが、富岡第三地区のスポーツフェスティバルを見学し、子供会役員の方へのヒアリングを実施しました。

2022.10.21



「一心たすけ」の会のサロンを見学し、運営者や参加者へのヒアリングを行いました。

2022.10.28



「ダイヤモンドクラブ」を見学し、ヒアリングを実施しました。

2022.11.13



中間提案ミーティングを実施し、これまでに活動見学やヒアリング結果のご報告と、ウエ

ブサイト制作に向けた方向性の確認をしました。

2022.11.20

成果物となるウェブサイトよりわかりやすく使いやすくするために、団体の方にお集まりいただき、レビュー会を実施しました。ハマボノのプロジェクトにこれまでメインで関わって来られた団体の皆さん以外にも、9名の地域の方が同席くださり、ご感想やご意見をいただきました。引き続きウェブサイト制作に反映させていきます。

2022.12.04

第2回目のレビュー会を開催しました。支援先団体でプロジェクトの関わってこられた方と、7名の地域の方にご参加いただき、ホームページのレビューに加え、操作マニュアルと運用イメージの確認を行いました。

2022.12.25



第3回目となるレビュー会を開催しました。今回も、支援先団体でプロジェクトの関わってこられた方以外にも5名の地域の方にご参加いただきました。地域で活用いただけるウェブサイトとなるよう、徐々に引継ぎに入っていきます。

2023.01.15

プロボノチームが支援先団体を訪問し、ウェブサイトの更新研修を実施しました。

2023.01.22

プロボノチームが支援先団体を訪問し、ウェブサイト運営に関する確認等を行いました。

2023.02.05

成果提案ミーティングを実施しました。すでにウェブサイトやマニュアルについて事前に共有やご説明の場を持っていたため、成果提案ミーティングでは、ご提供した成果物を一通りご確認いただき、ご質問への対応をしました。

2023.02.05



提案に対する回答と承認を実施しました。

プロジェクト成果



今後情報発信に関わる皆さんも巻き込んで、意見交換をしながらのホームページ制作を行いました

ホームページでの情報発信は、構成も内容もわかりやすいことが大切。地域活動を地域で発信する今回のホームページでは、それと同じくらい、誰が関わっても継続していける体制が大切です。支援先団体の皆さんもハマボノチームの皆さんも、その思いを1つにし、制作過程で地域の方のホームページに対する意見に耳を傾け、誰でも更新できるようなマニュアル作りや、情報の整理にも力を入れました。

団体のために今できることをしたいというハマボノチームの熱意と、ハマボノの支援を活かして今こそしっかりしたウェブサイトを持ちたいという団体の熱い思いが、スムーズなコミュニケーションを通じた成果物完成へとつながりました。

現時点でのウェブ更新担当の方は、プロジェクト最終日から半月もすると、80ページにも渡るマニュアルのどこに何があるか覚えてしまったと言うほどホームページとマニュアルを愛用し、更新を継続してくださっています。

(2023年2月22日時点の情報です)

[完成したウェブサイトはこちら（外部サイトにリンク）](#)

プロジェクト成果の“その後”



ハマボノ成果物のホームページ（HP）は、団体内で継続的に更新しています。更新の際には、詳細に作っていただいたマニュアルが活躍しています。今現在は業務が個人に依存しているという課題がありますが、今後は、町内会役員や子ども会の親御さんなどに引き継いでいくことも検討しています。

活用の機会としては、年末年始のごみ回収の案内や移動販売の予定変更など、住民や利用者に伝えたい臨時情報の発信などで特に役立っています。毎月の町内会月例会では紙資料は議題だけにしました。パソコン画面をテレビに映し説明することで全員が同じ箇所を注視できるようになりました。ブログ画面を映すこともあります。ブログに掲載した写真があることでさらに伝わりやすいと感じています。さらにこうした会議の報告も、会議資料に議事録と写真を添えて、当日もしくは翌日までにブログにアップする目標が叶うようになりました。HP、ブログ掲載は町内の皆で育てるという目標も持てるようになりました。また、町内会行事（参加申込み、お祝い、など）の申込みに伴う個人情報管理の観点などからも、HPからのエントリーは利便性を確実に向上させ安心感も生まれています。

さらなるホームページ活用のため、閲覧してもらえるように折を見てアピールしています。今後は、特に高齢者の閲覧を増やすこと。若い世代の方々の閲覧が課題です。また住民の方からの要望はQRコードを回覧物につけて欲しいというものでした。LINEでリンクを送ってワンタッチで開いてもらえるような流れも考えています。

[2024/2/4 富岡第三地区地域福祉保健計画（富岡北部町内会）森様、関野様、小野様、西川様、池田様、富岡地域ケアプラザ 伊藤様、金沢区社会福祉協議会 安田様へのヒアリングより／ご協力：プロボノワーカー樋口さん、田村さん、荘司さん、倉本さん]

キックオフミーティングの後、白山地区社協の定例会にチームの3名がオブザーバーとして参加しました。

2022.09.24

午前中にチームミーティングを行い、18時から3名のチームメンバーが、白山地区社協の推進委員会に参加しました。

2022.10.08

白山地区福祉協議会の構成メンバー（3グループ）へヒアリングを行い、その後チームミーティングを実施しました。

2022.10.22

アンケートのドラフト案について団体と協議しました。出来るだけ早くのアンケート実施を目指し、アンケートの中身、対象者等を検討し、再度団体と打ち合わせを実施する予定です。

2022.11.05

チームミーティングを実施し、アンケート内容の詰めと12日の中間提案に向けた準備を行いました。

2022.11.12



アンケート案について、団体との最終確認をしました。また、中間提案ミーティングを実施しこれまでの調査についてご報告し、今後の流れについて確認しました。

2022.11.19

アンケートの印刷を発注しました。11/25から地域に配布いただき、12/20までに回収いただく予定です。

2022.12.17

チームミーティングを行いました。Webのアンケートでは、約350件の回答がありました。チームでは、全国の社協関係の活動について調査をし、アンケート集計後の提案に向けた準備を進めています。

2023.01.14

チームの打ち合わせを行いました。成果提案に向け、1000件以上集まったアンケートデータの分析や、今後のアクションを団体と検討する準備を進めました。

2023.01.21



成果提案ミーティングを実施しました。アンケート調査の結果を報告し、今後、どのようにアンケート結果を活かしていくのかアクションプランを検討しました。

2023.01.27

提案に対する回答を受領し、プロジェクトが完了しました。

2023.01.28

アンケート結果について社協役員より推進委員会メンバーに報告するため、ハマボノメンバーが報告会に立ち会いました。

プロジェクト成果



地域住民が今感じている課題や地域の繋がりなどの現状把握をし、団体が今後取り組むべき活動の手がかりとなる情報を集めるためのアンケート調査を実施しました

地域住民が今感じている課題や地域の繋がりなどの現状把握をし、団体が今後取り組むべき活動の手がかりとなる情報を集めるためのアンケート調査を実施しました。

アンケート設計では、ハマボノメンバーが現地に伺い、会議や活動現場からヒントを得て、「配布しても捨てられない」アンケート作りを目指しました。その結果、4,000部の配布に対して1,000部を超える回答を集めることができました。

当初、団体の活動が住民にどの程度認知されているのか把握できていませんでしたが、アンケート結果から、地域住民に知られており、一定の評価を得られていることがわかりました。また、活動参加への関心も十分にあることがわかりました。

更に、今回のアンケートを機会に、団体の存在や活動内容を知ってもらふ大切さを再認識したため、参考情報として、他地域で行われている地域活動、広報の例をチームが調査し、アクションプランも提案しました。提案内容は団体の推進委員会にも早速紹介され、コミュニケーションの活性化が見られています。

プロジェクト成果の“その後”



成果物である調査報告書は、その後の活動に活用しています。アンケート結果を社協役員、連合自治会、関連活動団体全体で共有して、今年度の白山全体として「孤立化を防ぐ」のテーマの中で話し合いの場に役立てました。

これまでも実施していた行事においても、調査結果をベースに、行事の実施方法や対象者を検討することもあります。例えば、農業体験への関心の高さがわかり、コロナ禍が落ち着いて早速実施をすることになりました。

農業体験をはじめ、関心が高い行事の実施にあたっては、その後、「ハマボノmini」を活用し、イベントのチラシを作成しました。地域全体に向けたアンケートを実施したことで白山地区社会福祉協議会の認知度が少し上がったように感じしており、それをバネに、人目を引くチラシを作ってもっと活動を知ってもらい活発にしたいと思うようになりました。

「ハマボノって何？」と他の団体の方などから聞かれることがありますが、この部分に力を入れたいなどの目標があれば、ぜひ力になってもらうといい、とおすすめています。

[2023/12/20 白山地区社会福祉協議会小坂様へのヒアリングより]

プロジェクト紹介

NPO法人霧が丘ぷらっとほーむ



緑区

NPO法人霧が丘ぷらっとほーむ

プロジェクトの種類 課題整理ワークショップ（課題整理とアクションの実行）

プログラム

ハマボノ

進捗率

進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

2022年4月に、それまで地域で活動してきた3つの団体（シニア世代の居場所づくり／多世代交流と助け合い／多文化交流を通じた相互理解）が統合し、NPO法人霧が丘ぷらっとほーむとして活動を開始しました。「地域のたまり場が欲しい」という地域住民の長年の想いの実現に向け、「地域で繋がり、楽しむ！多世代・多文化交流の新拠点」として、2023年1月を目途にコミュニティカフェをオープンします。地域住民の小さな困りごとを解決し、年代や所属・背景を超えた“ナナメの関係”が生まれるきっかけとなる居場所を目指して、カフェやマルシェの運営、学びの場づくりを行っていきます。

2023年1月を目途にオープン予定のコミュニティカフェで、カフェ・マルシェ・学びの場づくりの事業を開始する予定です。当面はカフェの運営に最も力を入れていきたいと考えていますが、コミュニティカフェの運営には、多岐にわたる業務が想定されますが、団体にとっても初めての経験であるため、運営やボランティアに手を挙げる人がいても、お願いする業務が明確になっていないという課題を感じています。また、これまでの団体の活動も含め、業務が特定のメンバーに集中しています。

今回のプロボノプロジェクトでは、コミュニティカフェがオープンしさらに業務が増えることが見込まれるため、課題整理・状況整理を行います。コミュニティカフェの成功に向け、やるべきことの棚卸、優先順位づけ、ハマボノminiなど外部リソースの活用を視野に入れた施策やアクションの提案を行い、プロボノチームとして実施できるアクションは団体と一緒に実施していきます。そのサイクルを複数回（2～3回程度）繰り返しながら、団体の運営体制を持続可能な形に整えていきます。

進捗状況

2022.09.03



ハマボノ2022の全8チームが、オンライン開催でのオリエンテーションに参加しました。

ハマボノの流れや、横浜市におけるハマボノの意義などについてのお話のあと、チームミーティングでは、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、プロジェクトの進め方やプロジェクト内容の確認などを行いました。

2022.09.17



キックオフミーティングを実施しました。当初、大会場でのハマボノ全8チーム集合しての開催を予定していましたが、感染拡大予防のため、オンラインでの開催となりました。支援先団体の方と初めての顔合わせとなり、自己紹介や、団体の活動内容やプロジェクト内容、今後の進め方などについての確認を行いました。

2022.09.29

団体との初回ヒアリングを実施しました。

2022.10.01

ヒアリング情報からオープンまでのタスクや、集客対象の人物像など議論材料などをチームミーティングで検討しました。

2022.10.06

団体と、店舗オープンと安定運営に向けてのやるべきことの洗い出しと優先課題について打ち合わせをしました。

2022.10.11

カフェ（ぶらっとkiricafe）のコンセプトについて団体と打ち合わせをしました。

2022.10.16

次回の打ち合わせにむけて、チームミーティングをしました。

2022.10.25

カフェオープンに向けたタスクや具体的な進め方について団体と打ち合わせを行いました。

2022.11.06

中間提案に向けてチームミーティングをしました。

2022.11.09

コミュニティカフェについての調査として、NPO法人宮ノマエストロさんを訪問しインタビュー調査しました。

2022.11.14

コミュニティカフェについての調査として、ホツとカフェ小机さんにオンラインでインタビューを実施しました。また、チームミーティングを行い、これまでの調査をふまえて中間提案の骨子を再確認しました。

2022.11.17

団体と、カフェオープンに向けた課題等について打ち合わせをしました。

2022.11.21

ミーティングで確認した課題についてチームミーティングを実施しました。

2022.11.24

中間提案を実施しました。WEBサイトやSNSなど販促について議論をしました。

2022.12.17



オープン予定のKiri cafeで打ち合わせを実施。カフェの事業収支やマーケティングプランについてのディスカッションをしました。マーケティングの一環としてkiricafeのWEBページの制作もプロボノチームで進めています。

2023.01.04

公開したKiricafeのWEBサイトについての確認、カフェのプロモーションやオペレーションについて、打ち合わせを行いました。

2023.01.12

大盛況の中、カフェのオープニングセレモニーが行われました。セレモニーにて、ハマボノチームの支援についてもメッセージをいただきました。いよいよカフェの営業が始まりますが、店舗運営を軌道にのせるべくプロボノの支援も大詰めを迎えています。

2023.02.07



最終ミーティングを実施しました。オープン後、馴染みのお客様が運営の思いについて語るなど、早くも地域で愛されるパワースポットとして走り始めている「ぶらっと kiricafe」。一方で、kiricafeの思いを自分の言葉で伝えられるスタッフや地域のファンをもっと増やすためにどうしたらよいか？、より多くの人がかフェの運営に関わるために多様な関わり方（有償ボランティアなど）も考えなければ！など、オープンして体験した課題についてざっくばらんに意見交換をしました。kiricafeで打ち上げすることを約束して打合せを終えました。

2023.02.21

チームメンバー一人一人の団体へのメッセージと、プロジェクト期間中に整理した課題と対応方針をドキュメントにまとめて納品しました。

プロジェクト成果



地域で愛され続けるコミュニティカフェ運営のための課題整理と施策提案を行いました

「地域の集いの場が欲しい」という地域住民の長年の想いの実現に向け、コミュニティカフェのオープンに向けて準備をする霧ヶ丘ぶらっとほーむ。

団体にとっても、コミュニティカフェの運営は初めての経験で、沢山の課題を抱えていましたが、プロボノチームが団体の良き相談相手として、プロジェクト開始からオープンまでの4ヶ月間を伴走しました。カフェ開設に向けて、利用する地域住りのペルソナ分析やマーケティングプランの提案や、収支管理のためのエクセルテンプレートやWEB制作など、多岐にわたって団体のサポートをしました。

2023年1月13日、「ぶらっと kiricafe」が無事オープンし、最終ミーティングでは、kiricafeが地域で愛されるパワースポットとして走り始めている喜びを団体とプロボノチームで分かち合いました。

【プロジェクトの成果物】

- ・カフェのコンセプト提案
- ・利用する地域住りのペルソナ分析
- ・マーケティングプラン提案
- ・カフェ専用WEBページの制作
- ・事業収支管理エクセルテンプレート提案？オープンに向けたタスクの整理

(2023年3月10日時点の情報です)

プロジェクト成果の“その後”



ハマボノでは、いろいろな知見がある方からのアドバイスや、時に実務の部分でもサポートを頂きました。3つの団体が霧が丘ぶらっとほーむとして活動をするようになったため関係者が多く、さらにカフェを立ち上げようとしている中でサポートいただくことは難しかったのではとも思いますが、一緒に考えてくれる人が欲しいときにご支援をいただけて、非常に有難いタイミングだったと思います。

様々な成果物をいただき、どれも活用をしています。

例えば、広報に使うメッセージとして「ぶらっと寄ってこのまちがもっと好きになる」というコピーをご提案いただきましたが、これは、お店の掲示板やチラシで活用しています。

SNSの活用では、インスタグラムのフィード設定をしていただけたことも大変助かっています。

プロジェクトの約4か月ではありましたが、ハマボノの皆さんが、本当に私たちの仲間のように時間を過ごして下さったことに、とても感謝しています。

[2024/2/22 霧が丘ぶらっとほーむ 代表根岸様へのヒアリングより]

プロジェクト紹介

瀬谷第四地区社会福祉協議会



瀬谷区

瀬谷第四地区社会福祉協議会

プロジェクトの種類 印刷物（パンフレット制作）

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

瀬谷第四地区社会福祉協議会は、地域の住民組織や社会福祉関係団体などが協力して、地域福祉に関する取り組みの企画・実施をしています。活動内容は、高齢者サロン、配食サービス等の高齢者支援、子ども、障がい者の支援、啓発事業の実施、地域見守りサポーターの養成など、多岐にわたります。特に、子育て支援「よんたくん広場」、人材育成「よんたくん倶楽部」、高齢者・障害者支援・地域支援「よんたくんSOSネットワーク」の、3つの活動に力を入れています。

現在、活動を運営する役員は13名、イベントなどの運営に関わる方を含めると200名ほどの住民が関わり運営をしています。様々な活動を行っていますが、地域住民に地区社協の活動が十分に知られていない状況です。また、活動をしている方の高齢化が進み、若い参加者や、新たな運営メンバーが増えないことも課題です。また、運営メンバーで広報物を作ろうとすると伝えたいことが多くなり、情報が多すぎる広報物になってしまうため、どのような形で広報を行えば、団体を知らない人にとっても分かりやすい、魅力が伝わりやすい広報物を作ることが出来るのかと難しさを感じています。

そこで、今回のプロボノプロジェクトでは、特に若い世代（40代～60代）に向けて、活動に参加したい、関わってみたいと思えるような、団体の魅力を伝える団体紹介パンフレット（A3またはA4サイズ程度を想定）を作成します。特に、「よんたくん」の3つの活動をメインに伝え、地域活動に参加したことのない人でも地区社協の活動がイメージでき、誰もが一目で見て活動の内容が分かる、パンフレットを見て活動を1回見に行こうかなと思えるようなパンフレットを目指します。

進捗状況

2022.09.03



ハマボノ2022の全8チームが、オンライン開催でのオリエンテーションに参加しました。

ハマボノの流れや、横浜市におけるハマボノの意義などについてのお話のあと、チームミーティングでは、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、プロジェクトの進め方やプロジェクト内容の確認などを行いました。

2022.09.11

Zoomでチームミーティングを行い、キックオフミーティングに向けた打ち合わせ、資料等の準備について確認をしました。

2022.09.17



キックオフミーティングを実施しました。当初、大会場でのハマボノ全8チーム集合しての開催を予定していましたが、感染拡大予防のため、全体としてはオンラインでの開催、瀬谷第四地区社会福祉協議会チームは、団体の方が集合した会場とオンラインとのハイブリッド開催となりました。支援先団体の方と初めての顔合わせとなり、自己紹介や、団体の活動内容やプロジェクト内容、今後の進め方などについての確認を行いました。

2022.10.08

オンラインでチームミーティングを実施しました。キックオフミーティングなどでのヒアリングをもとに、団体側から希望として提示されたサンプルとなるパンフレットの構成を参考に、瀬谷第四地区社協の魅力をどう見せるか、パンフレットをどう構成するか、そのためにどのようなヒアリングを実施するかなどの検討を進めています。

2022.10.22

オンラインでチームミーティングを実施しました。

2022.11.03

チームミーティングを実施し、中間提案に向けた最終検討を行いました。

2022.11.06

中間提案ミーティングを実施しました。団体の方には会議室にお集まりいただき、プロボノチームは現地参加とオンライン参加に分かれての実施となりました。オンライン接続におきましては、カメラやマイクなど支援者の方に丁寧に設定いただき、とてもスムーズに行うことができました。中間提案でパンフレットの方向性をすり合わせる事ができ、これからプロボノチームは改めてのヒアリングや情報整理、パンフレット制作に入っていきます。

2022.11.12

団体を訪問し、活動に関するヒアリングを実施しました。

2022.11.20

オンラインでチームミーティングを実施し、ヒアリング結果の共有、今後の進め方の確認を行いました。

2022.12.11

オンラインでのチームミーティングを行いました。成果物となるパンフレットの内容や構成について引き続き検討を進めています。

2023.01.14

オンラインでチームミーティングを実施しました。

2023.01.28



チームが団体活動場所を訪問し、成果提案ミーティングを実施しました。成果物として作成したパンフレットをご提示と、作成までに経緯やポイントなどをご説明し、修正点の確認を行いました。改めて団体内で修正点を検討していただき、後日それを反映、納品予定です。

2023.02.05

成果提案ミーティングでいただいたフィードバックを反映した成果物を納品しました。

2023.02.14

提案に対する回答と承認を実施しました。

プロジェクト成果



初めて見る人に関心を持ってもらえるよう、コンパクトに情報を整理したパンフレットが完成しました

活動を初めて15年、活動の対象も幅広く、活動内容も豊富なこともあり、活動を詳細に伝えたいこともあり、つい紹介資料の情報量が多くなってしまいます。一緒に活動に関わってくれる人を増やしたいと思う中、まず何を伝えれば魅力が伝わり、関心を持ってもらえるのか、特に、現在活動に関わる70代前後のメンバーよりも、もっと若い方に見てもらえるようなデザインや内容のパンフレットが必要ではと、1枚で活動を伝えられるパンフレットを制作しました。すべての活動を網羅することはできないため、今回のパンフレットで紹介するのは特に力を入れている「よんたくん広場」（子育て）、「よんたくん倶楽部」（人材育成）、よんたくんSOS（見守り）の3つに絞りました。

出来上がった成果物は、マスコットキャラクターのよんたくんを随所で活かし、明るい色で楽しさを伝え、活動の楽しさや内容を伝える写真を多く使用し、初めての人が知りたいポイントをQ&Aで紹介するなどの工夫をしました。

(2023年2月4日時点の情報です)